

展示のねらい

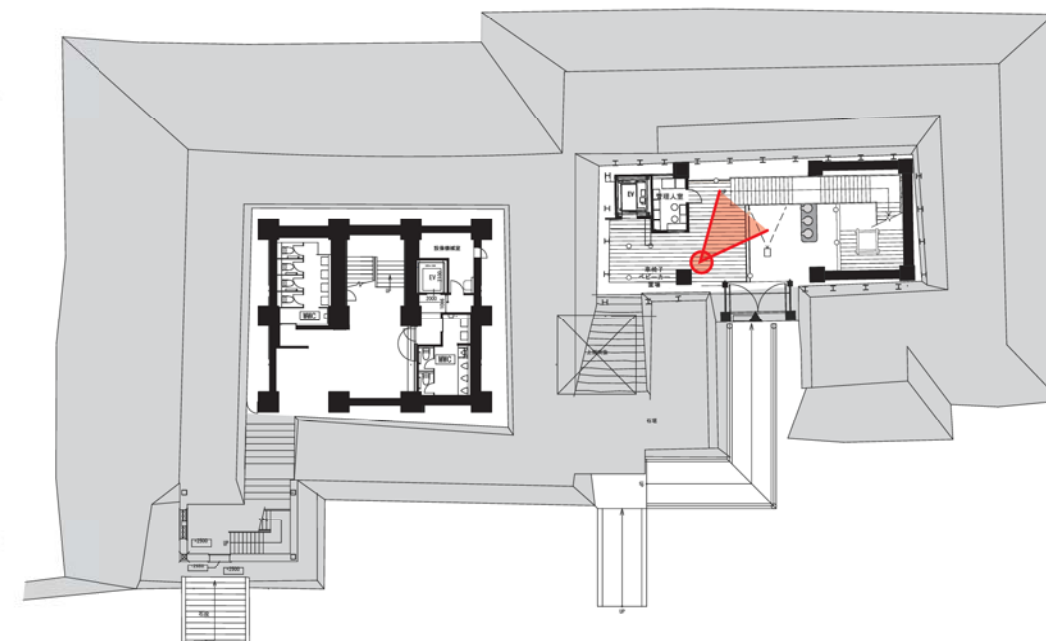
熊本城天守のエントランスとして来館者を出迎え、見学への期待を高める。また、この場所が穴蔵として使われていたことを感じてもらう。

地階（穴蔵）



■内装計画

- ・床：検討中
- ・壁：ボード貼＋塗装
- ・柱：RC 補修＋塗装
- ・天井：ボード貼＋塗装

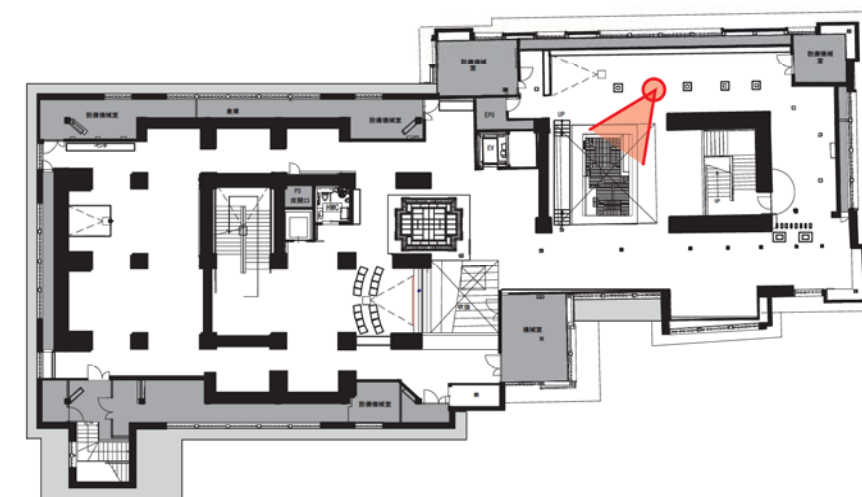


金網設置イメージ



展示のねらい

大小天守の軸組模型を展示し、天守の構造やその特徴をわかりやすく解説する。また実物大の破風模型を展示し、天守の意匠・大きさ等を感じてもらう。



1F 加藤時代 天守軸組模型

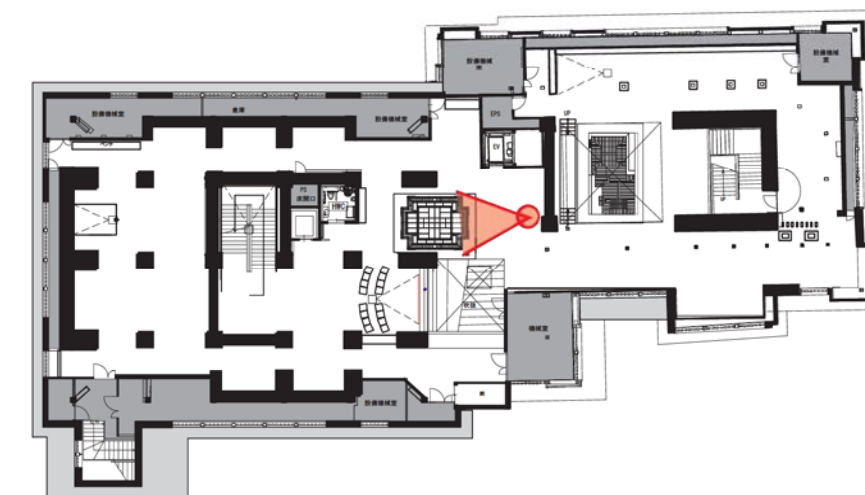


■内装計画

- ・床：タイルカーペット
- ・壁：ボード下地＋塗装
- ・天井：ボード下地＋塗装

展示のねらい

大天守の最上階が「御上段」と言われ、天守の部屋のなかで最も格式が高い場所であることを紹介する。精巧な復元模型を中心に、外観意匠や、上段の間の構造、障壁画などの装飾、間取りなどを紹介する。



1F 加藤時代 上段の間模型

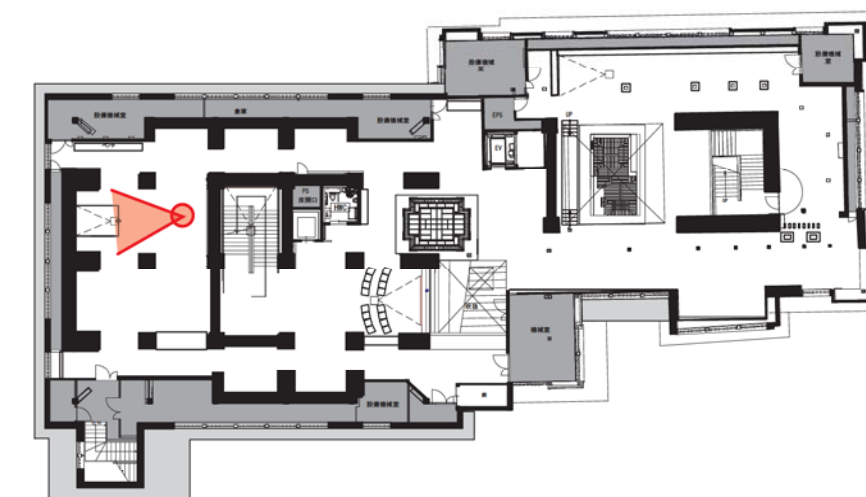


■内装計画

- ・床：タイルカーペット
- ・壁：ボード下地＋塗装
- ・天井：ボード下地＋塗装

展示のねらい

熊本での新城築城において、河川を城の防衛線と考え、坪井川・井芹川を合流させ自然の内堀とし白川を外堀とするなど、清正が河川を整備したことを模型に映像を投影して解説する。



慶長国絵図（グラフィック）

模型に映像を投影し、
白川の河川改修事業とそれによってつくられていった城下町を解説する。

1F 加藤時代 河川改修解説模型



■内装計画

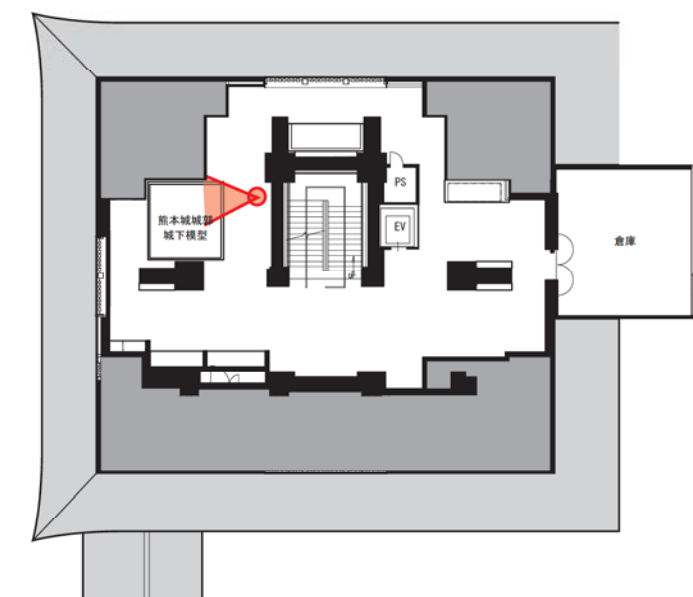
- ・床：タイルカーペット
- ・壁：ボード下地＋塗装
- ・天井：ボード下地＋塗装

展示のねらい

細川家入国後の城改修、城の維持管理を踏まえたうえで、熊本城の城郭・城下模型に映像を組み合わせて、細川時代の城と城下町について紹介する。

城下模型に城下の町割りを解説する映像を投影する。

2F 細川時代 熊本城城郭・城下模型



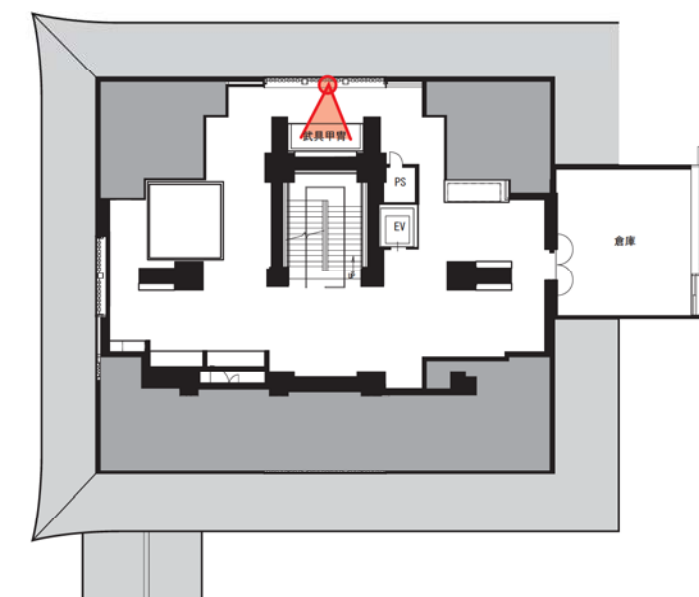
■内装計画

- ・床：タイルカーペット
- ・壁：ボード下地 + 塗装
- ・天井：ボード下地 + 塗装

展示のねらい

天守が武器の保管場所として利用されていたことを示し、武具・甲冑の精巧なレプリカをケース内に展示する。
ケース内は、天守内で保管されていた場所をイメージした内装とする。

2F 細川時代 武具甲冑



※参考イメージ 犬山城武具の間

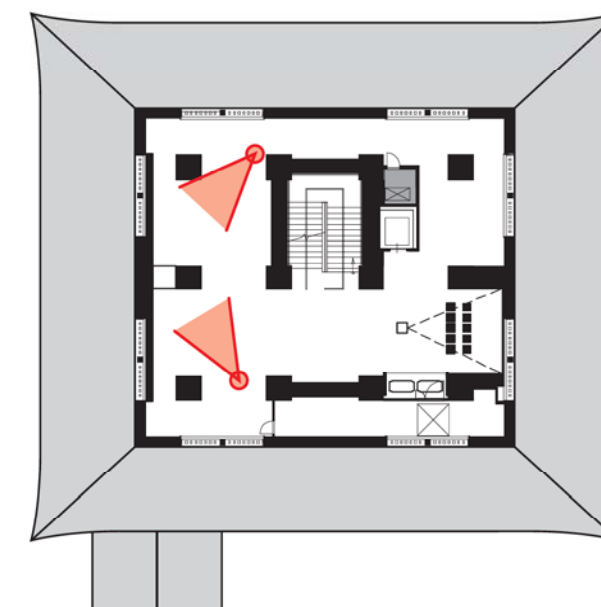
■内装計画

- ・床：タイルカーペット
- ・壁：ボード下地＋塗装
- ・天井：ボード下地＋塗装

展示のねらい

明治時代に入った後の熊本城の変化や、西南戦争で籠城戦が行われたことを錦絵や古写真などを交えて紹介する。

3F 近現代 西南戦争



西南戦争概要

火災で赤く変色した瓦など

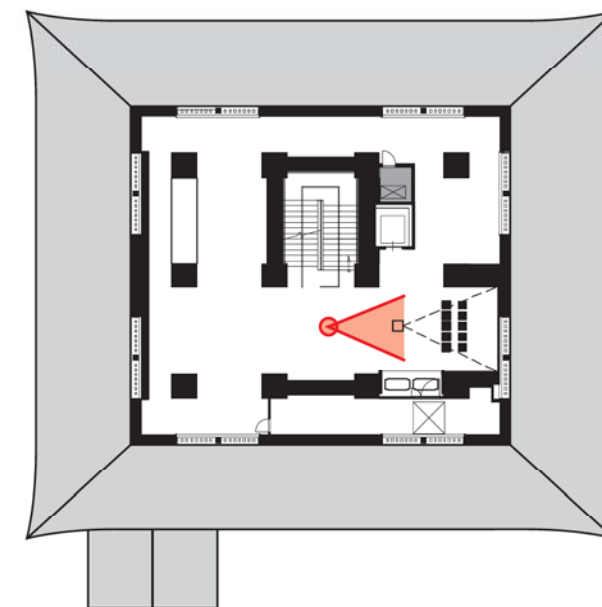
西南戦争
解説映像



展示のねらい

昭和 35 年に蘇った熊本城天守の再建の様子を、当時の記録などの資料を通して紹介する。

3F 近現代 鯨瓦・ミニシアター



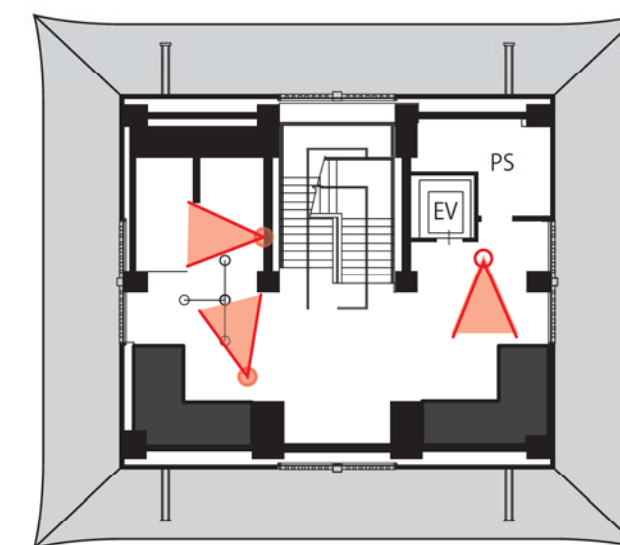
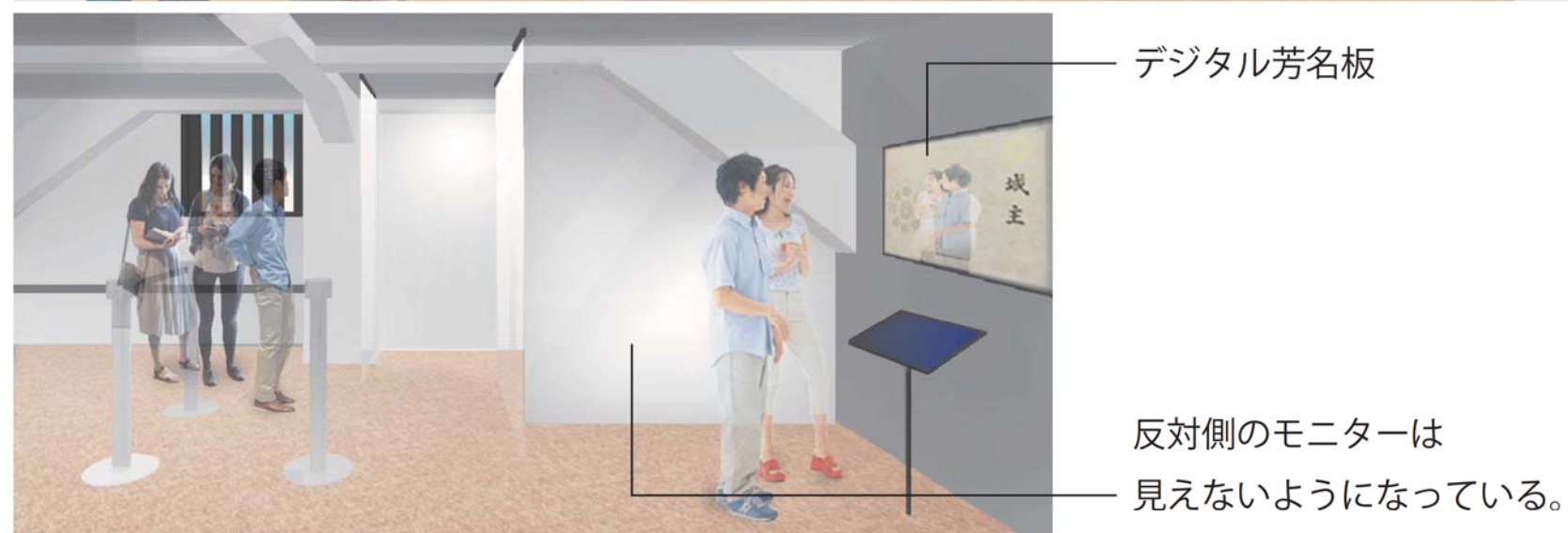
■内装計画

- ・床：タイルカーペット
- ・壁：ボード下地＋塗装
- ・天井：ボード下地＋塗装

展示のねらい

平成 28 年の熊本地震による被害状況と、その復旧に向けた技術を紹介する。また、復興城主を検索し名前を映し出すデジタル芳名板を設置する。

4F デジタル芳名板



■内装計画

- ・床：タイルカーペット
- ・壁：ボード下地 + 塗装
- ・天井：ボード下地 + 塗装

4F 平成 28 年熊本地震



展示のねらい

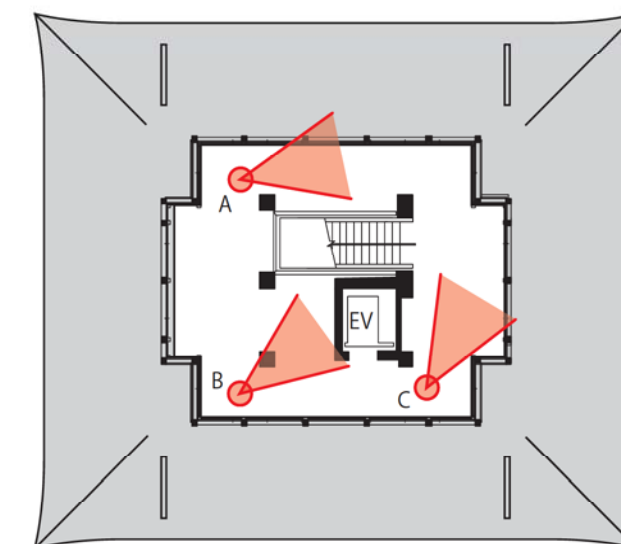
天守最上階から復興が進む熊本の町並みを展望する。また、過去の城下町の風景や周辺情報をスマホやタブレットの画面にAR技術で表示することで熊本城周辺の変化を感じてもらう。

6F 天守からの展望

アプリを活用してかつての展望を古写真などを使って見せることができる



展望案内として、市内の本妙寺・泰勝寺・妙解寺・古城・城下町等が入るようなエリアの地図を作成する



■内装計画

- ・床：フローリング
- ・壁：不燃木貼り＋一部塗装
- ・天井：不燃木貼り